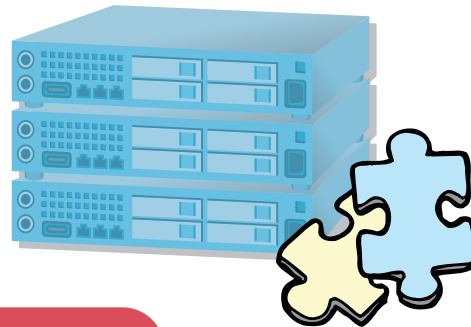


ちょっと ブレイク しませんか?



第 36 回

「イミテーション・ゲーム
/ エニグマと天才数学者の秘密」(2014年米国)

インソップ寓話に「馬と兵士」と題する小話がある。

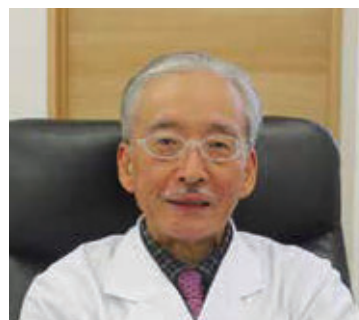
戦争が行われている間は、騎士は馬を戦場における気高い戦友と見なして、大麦や^{まくさ}秣で養っていた。ところが、戦争が止んで平和が続き、騎士ももはや町から給料が貰えなくなると、この馬は太い丸太を森から町まで曳き出したり、雑多な荷を運ぶ駄賃仕事を専らとするようになった。惨めな^{ふすま}麩で辛い命をつなぎ、背中に積むのはもはや騎士の装備ではなかったのだ。

ところが、城壁の前を新たな戦争の噂が走り、楯を磨き、馬を飾り、剣を研ぐよう喇叭が人々を促すと、かの男も再び馬に^{くつわ}轡をふくませ、引き出してうち^{またが}跨ろうとした。しかし馬はもはや力なく、へなへたと倒れこんで言うには「重装歩兵の隊に入ることだ。俺を馬から^{ろば}驢馬に変えやがったくせに、どうして今度は驢馬から馬に戻そうとするのだ」

1939年英国がナチス独逸に宣戦布告し第二次世界大戦が開戦。天才数学者チューリングは、英国政府の機密作戦に参加し独逸軍の誇る暗号エニグマの解読に挑む。エニグマが“世界最強”と言われる所以は、暗号のパターン数が10人の人間が1日24時間働き続けて全組合せを調べ終わるまでに2千万年かかるからだ。暗号解読のため、チェスの英国チャンピオンや言語学者など6人の天才たちが集められる。MIG6の元、チームは暗号文を分析するが、チューリングは単独で奇妙なマシンを作り始める。幼少期から自閉的で偏屈で孤高のチューリングは協同作業が大の苦手。両者の溝が深まっていく中、パズルの天才ジョーンがチューリングの固く閉ざされた心の扉を開いていく。そして初めて仲間と心が通い合ったチューリングは、遂にエニグマを解読。解読した暗号を利用した極秘作戦が計画されるが、それはチューリングの人生はもちろん、仲間との絆さえも危険に晒すものだったのだ。さらに自分に向けられるスパイ疑惑。そしてチューリングが隠し続けた性愛の秘密。あらゆる秘密と疑惑が幾重にも積み重なりチューリングの人生は思わぬ方向へと突き進んでいく。

戦争となると国民総動員、天才も例外なく徴用される。だが、終戦でお払い箱では困る。戦後の冷戦で、エニグマ解読の快挙も国家機密にされた。終始不遇で同性愛の罪で逮捕されたチューリングに対して2009年に英国首相が公式に謝罪、2013年にエリザベス2世女王の名で正式に恩赦が発効した。

世襲三代の独裁国家で核開発が進み、日本も戦争に巻き込まれそうで日々緊張が高まっている。インソップの「兵士と馬」も昔話と片付けられない。チューリングマシンは今日のコンピュータの原型で、チューリングは人工知能の父とも言われている。戦争で外科学や産業技術が飛躍的に発展したのは事実だが、戦争には飽くまで反対したいし、デュアル・ユースでないモノづくりも追求したい。来春で平成は幕だとか。しかし平和は続いてほしい。戦争映画は御屠蘇気分を白けさせるが、数理が得意な人々にお薦めの作品だ。



かゆ かわ ゆう へい
粥川 裕平
(精神科医・映画評論家)

名古屋工業大学 名誉教授
かゆかわクリニック院長